

《 諫 干 だ よ り 》

.....◆◆◆2007/8/1◆◆◆

◆◆◆目 次

- ◆諫早湾干拓事業にかかる最近の動き
- ◆重要なお知らせ
 - ◇農地リース料の減額について
 - ◇干拓農地の公募開始について
- ◆トピックス
 - ◇諫早開門調査訴訟の終結について
 - ◇諫早湾干拓選考委員会の開催について
 - ◇長崎県農業振興公社への干拓農地の配分通知について
 - ◇諫早湾干拓地営農研究会の開催について
 - ◇営農推進調査運営協議会の開催について
 - ◇関係機関説明会並びに営農意向者現地説明会の開催について
- ◆総合農試干拓科だより(干拓地で栽培した春作バレイショの内容成分)
- ◆九州農政局通信(強い農業づくり交付金の概要)
- ◆その他(意見、提案の募集)
- 編集後記

◆◆◆諫早湾干拓事業にかかる最近の動き.....

- 平成19年7月2日(月)
 - 諫早開門調査訴訟が終結した。

- 平成19年7月6日(金)
 - 諫早湾干拓選考委員会が開催された。

- 平成19年7月6日(金)
 - 長崎県農業振興公社へ干拓農地の配分通知がなされた。

- 平成19年7月6日(金)
 - 長崎県農業振興公社理事会が開催された。

- 平成19年7月10日(火)
 - 公募に係る関係機関説明会が開催された。

- 平成19年7月12日(木)

□諫早湾干拓地営農研究会が開催された。

■平成19年7月23日(月)

□営農推進調査運営協議会が開催された。

■平成19年7月24日(火)

□干拓農地リース条件が公表された。

■平成19年7月25日(水)～27日(金)

□営農意向者現地説明会が開催された。

◆◆◇重要なお知らせ

◆◆◇農地リース料の減額について

諫早湾干拓農地のリース料については、年間標準額2万円/10aが基本ですが、このたび国営土地改良事業の地元負担金に係る新たな融資制度(※1)が創設されたことから、これを活用して、当初5年間に限りリース料を年間標準額1.5万円/10aにすることといたしました。

この新しい融資制度は、担い手への農地集積を目的としており、融資対象となるためには、本地区の場合はエコファーマー等への農地集積率の目標を達成する必要があるなど諫早の営農方針を進めるためのものでもあります。本制度への皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※1 土地改良負担金総合償還対策事業の中に、19年度から品目横断的経営安定対策等支援事業が創設されたものです。

◆◆◇干拓農地の公募開始について

干拓農地の公募がいよいよ開始されます。公募期間は、8月3日から9月3日までの1ヶ月間です。募集要領や提出書類等につきましては、現地説明会でご説明したとおりですが、書類の受付は郵送でのみ受け付けておりますのでご注意ください。

公募に関するご質問等は、下記におたずねください。

(財)長崎県農業振興公社 TEL 095-820-6606(直通)

〃 (諫早事務所) TEL 0957-25-6421(直通)

長崎県農林部諫早湾干拓室 TEL 095-895-2051(直通)

◆◆◇トピックス

◆◆◇諫早開門調査訴訟の終結について

7月2日、被告国は、原告福岡県有明海漁連より6月25日付けで提出されていた諫早開門調査訴訟の訴えの取り下げについて同意し、同訴訟は終結いたしました。

同訴訟は、平成18年1月31日に訴えが提起され、同年12月19日に行政訴訟に係るものについては、その請求が却下され、民事訴訟について争われておりました。

◆◆◆諫早湾干拓選考委員会の開催について.....

去る7月6日、第1回「諫早湾干拓地農業者選考委員会」を開催した。委員会では「諫早湾干拓地農業者選考基準(案)」を示し、選考にあつたての基準及び具体的な審査の視点についての審議が行われ、承認されました。

今後の選考委員会の開催は、募集期間終了後の応募状況等の報告(9月初旬)、貸付者の決定に向けての審議(12月)の2回を予定しています。

◆◆◆長崎県農業振興公社への干拓農地の配分通知について.....

去る5月30日付けで(財)長崎県農業振興公社より提出しておりました、諫早湾干拓農地の配分申込については、7月6日付け19九計第40号により、九州農政局長から「配分通知」の交付がありました。

公社は、これを受けて8月から募集を開始し、選考委員会を経て12月に干拓地で営農する入植・増反者を決定することとなります。

◆◆◆ 諫早湾干拓地営農研究会の開催について

諫早湾干拓地で営農を希望する方々で組織する諫早湾干拓営農研究会が、去る7月12日、諫早市において開催されました。今回は、8月から始まる公募に向けて、募集要領の内容についての勉強会となりました。県内外の営農希望者から様々な質問や意見が出され、諫早湾干拓地での営農に期待されている様子がはっきりと見て取ることができ、全員が7月25日からの現地説明会にも参加の意向でした。

◆◆◆営農推進調査運営協議会の開催について.....

7月23日、総合農林試験場の会議室において、平成19年度諫早湾干拓営農推進調査運営協議会を開催しました。本協議会は、試験ほ場における営農試験の結果と今後の試験計画等について検討する目的で、国と県の関係機関で構成しています。

これまでの総合農試干拓科の営農試験の結果につきましては、これまでも「干拓科だより」等で詳しく紹介しておりますので説明を省略しますが、今後の試験につきましては、大型機械化体系の実証試験や施設園芸作物の栽培法の検討、環境保全型農業の確立に向けた試験等を継続して実施していく旨の内容を提案し承認されました。

また、来年度からは営農が開始されますので、「諫早湾干拓初期営農技術対策の指針」を本年度策定することにしており、その取りまとめ方針についても協議しました。営農者の皆さんのところには、営農開始までにお届けできるように編集作業等を進めていくことにしています。

なお、農業者の方において実施しました営農実証試験の結果につきましても、本協議会にご紹介しました。18年度の営農実証試験の結果の概要は次のとおりです。

平成18年度営農実証試験結果の概要

作付品目 (品種)	耕種概要 (数値は全て10a当たり)	主な意見・感想等
ブロッコリー① (ピクセル)	<p>定植 9月6日、7日 (半自動定植機利用)</p> <p>施肥 元肥 エコスマイル 100kg 追肥 BE239号 40kg N換算20kg (元肥は畦成形同時施肥) (施肥はいずれも畦内前面施肥)</p> <p>中耕土寄せ 9月15日、9月26日</p> <p>収量調査 11月24日 1,086kg (秀品率96%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施肥量は県基準の約70%だが、生育は順調。 ・硫安のみを施用した対照区を設けたが、その区は葉色等から生育が若干物足りないとの感想。 ・収穫は11月14日～12月16日 (通常は約2週間程度の収穫期間だが、台風の影響により生育が不揃いとなり、1ヶ月に及んだ) ・秀品率は97%に達し、品質が非常に良かった。 ・肥料効きが良かったため、生育も順調だった。 ・定植、土寄せ、防除等の機械化体系も併せて検討。
ブロッコリー②	<p>定植 2月21日、22日 (半自動移植機利用)</p> <p>施肥 元肥 エコスマイル 100kg 追肥 BE239号 40kg N換算20kg (元肥は畦成形同時施肥) (施肥はいずれも畦内前面施肥)</p> <p>収量調査 5月15日 1,044kg (秀品率90%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に収穫を終えたほ場の後作として作付。 ・機械化一貫体系を目指しており、2月21日に畦成形同時施肥を行った後、半自動移植機で定植。その後も三連カルチによる土寄せ、ドラフト低減ノズルを装着してブームスプレーヤ等を利用。 ・同じ肥料で、2割減肥区を設定し調査した結果、当初の生育はやや緩慢に感じたが、収量に差はなかった。 ・機械化体系を目指した試験であり、栽植密度が慣行栽培に比較してやや少ない約4,000株であったため、収量的には若干不満。 ・秀品率は既耕地に比べて高い。
秋ばれいしょ① (ニシユタカ)	<p>播種 9月15日</p> <p>施肥 硫安 80kg(100%元肥) N換算16.8kg</p> <p>収量調査 12月16日 4,951kg</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期成育はやや遅れたものの後半は順調に生育。 ・2L以上が56%を占め、161g/個と大いも傾向。 ・そうか病は発生していないが、肌荒れが見られた。 (収量は問題ないが、肌荒れの発生が心配される) ・収穫物に土が付着するため、何らかの対策必要。 ・ほ場の一部は、11月中旬に収穫し、たまねぎを定植。 (11月中旬の収量は約2t)
秋ばれいしょ② (ニシユタカ)	<p>播種 9月19日～20日</p> <p>施肥 元肥 硫安40kg 追肥 硫安20kg(培土時) N換算12.6kg</p> <p>収量調査 12月16日 4,165kg</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・干ばつ年だったが、生育は順調。(灌水を1回実施) ・ハスモンクワの被害を心配したが、病害虫は発生せず無農薬で栽培できた。 ・既耕地が平均約2tの収量であり、結果には非常に満足している。 ・営農実証試験に参加したのは4作目になるが、ばれいしょの作付ほ場は、毎回変更となったためそうか病等の土壌病害が発生していない。 (※ばれいしょ栽培では輪作が必要) ・干拓地の試験栽培で生産したばれいしょを種子として既耕地で利用した場合、高い評価を受けた。 (春ばれいしょ収量5t～6t)

作付品目 (品種)	耕種概要 (数値は全て10a当たり)	主な意見・感想等
	マルチ 4月5日 黒マルチ 施肥 元肥 なたね油かす 156kg N換算8.3kg 収量調査 6月8日 3,148kg	<ul style="list-style-type: none"> ・4月3日～4日にかけて霜害あり。 ・無農薬栽培のため、疫病が多発したが、収穫時の塊茎腐敗は少なかった。 ・階級的には2L以上が無く、やや小玉傾向。 ・農家が調査した実収穫量は2,280kg。 ・干拓地は風が強いので防風対策が必要。 ・道路の土が乾燥して土埃になるので舗装が必要。
たまねぎ① (ひろまる、 レクスター)	(レクスターの耕種概要) 定植 11月9日 施肥 元肥 たまねぎ名人 180kg 追肥 たまねぎ名人 20kg N換算31kg (※他に有機主体の区を設定) 収量調査 4月9日 ひろまる 5,734kg レクスター 6,993kg	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒロマルは特裁を意識して有機質50%以上の肥料で栽培したが、初期段階から最後まで生育がやや劣った。(今後の課題として残った) ・機械収穫を行う際、草が絡まって作業効率が落ちるので、除草剤を1回は使用したい。 ・概して雲仙市内の既耕地よりも球じまりがよく、レクスターは秀品率も高かった。(95%以上の商品率)
たまねぎ② (もみじ、 ターザン)	定植 12月23日、24日 施肥 元肥 硫安 95kg N換算20kg 収量調査 ターザン 7,387kg もみじ 6,205kg	<ul style="list-style-type: none"> ・両品種ともに2L～M主体で球揃いが良かった。 ・除草作業に6人で5日を要した。 ・降雨による作業性の低下は気にならなかった。 ・風による茎葉の傷みがあるため、貯蔵中の腐敗が懸念される。 ・諫干、無農薬にはパイヤーが注目している。
たまねぎ③ (Y100、さくら 七宝早生7号、 甘70)	(七宝早生7号の耕種概要) 定植 12月16日、18日、25日 施肥 元肥 たまねぎ名人 120kg 石灰窒素 100kg N換算39kg (他に肥料の銘柄、施肥量を変えて複数区設定) 収量調査 5月7日～15日 6,768kg	<ul style="list-style-type: none"> ・南北に畦を立てて栽培したところ、昨年の試験と比較して生育が均一だった。 ・石灰窒素の施肥量を誤って施用したため、通常の2倍の施肥量となっている。 ・石灰窒素を元肥と同時に施用したが、定植株の影響はなかった。また、雑草防止効果もあまりなかった。 ・本年は非常に単価が低かった。大規模経営に対応した販売法(契約栽培、貯蔵)等が必要。
たまねぎ④ (さつき)	定植 1月11日 施肥 元肥 なたね油かす 156kg N換算8.3kg 収量調査 6月8日 6,866kg	<ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培による試験を実施。 ・既耕地とあまり変わらない生育を示した。 ・ほ場内で排水性のムラが感じられた。

◆◇◇ 関係機関説明会並びに営農意向者現地説明会の開催について

8月からの募集開始にあたって、7月10日(火)、応募者の資格や貸付条件等の募集要領についての周知を図るため、関係機関を参集して説明会を開催しました。

なお、7月25日から27日の3日間において、農業者等を対象に、午前中は現地での干拓地の整備状況等を視察し、午後から募集についての説明会を開催した。参加人員は151人(102経営体)で、入植・増反に向けた真剣な質疑応答が交わされました。

営農試験Now

総合農林試験場干拓科 川原洋子

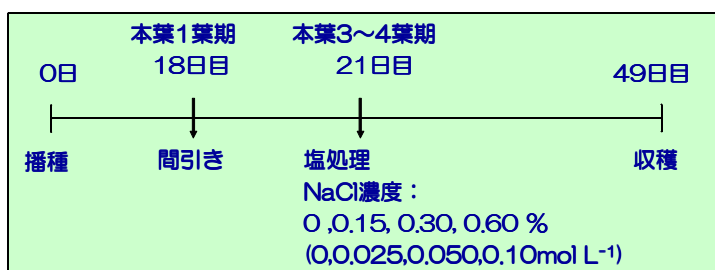
— 干拓土壌の残存塩類がホウレンソウの成長と成分に与える影 —

◎はじめに

諫早湾干拓地の土壌は、カルシウム、マグネシウム、カリウム、ナトリウムなどの陽イオンを豊富に含んでいます。その中で、ナトリウムは、高濃度になると他の養分の吸収を妨げ、生理障害を発生させることから、緑肥の鋤き込みによる過剰な塩分(NaCl)であるナトリウムを除去する農地管理が行われています。初期の実証試験では、バレイショはでんぷん価が高く、ニンジンやトマトは糖度の高いものが生産されており、ミネラル分の豊富さと適度な塩分ストレスによるものではないかと考えられます。これまでに、ホウレンソウ栽培では、適度なNaClの添加によって生長率や葉の厚みが増すことがわかっています。そこで、諫早湾干拓地の土壌中の豊富な塩類が農産物の品質向上につながることを期待し、そのメカニズムとナトリウムが植物の生長や成分に与える影響について、ホウレンソウを用いて調査を行いました。

◎0.15, 0.30, 0.60%に希釈した人工海水を添加した栽培試験は…

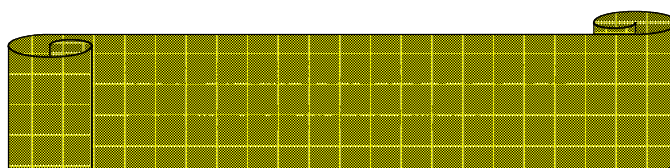
供試品種はホウレンソウ「品種:オーライ」を用い、窒素肥料23.5kg/10aを施肥しました。

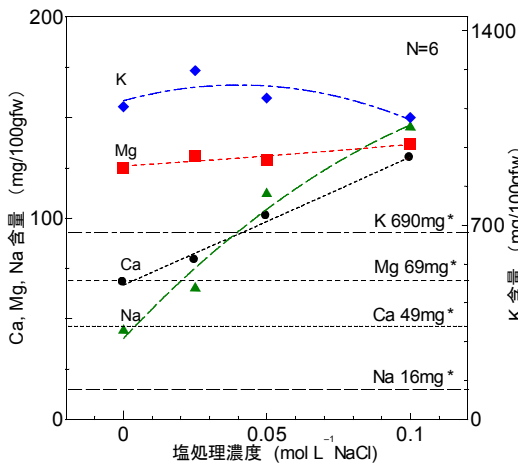


栽培は、環境試験室内で行い、本葉3~4葉期に、希釈した人工海水0~0.6%を添加し、播種後49日目に収穫調査しました。

条件：気温は 20℃、光強度 250 $\mu\text{mol m}^{-2} \text{s}^{-1}$ (曇天くらいの光の強さ)、
10時間日長、相対湿度 55%、土壌水分約 40% (かん水で調整)

◎干拓土壌で栽培すると…



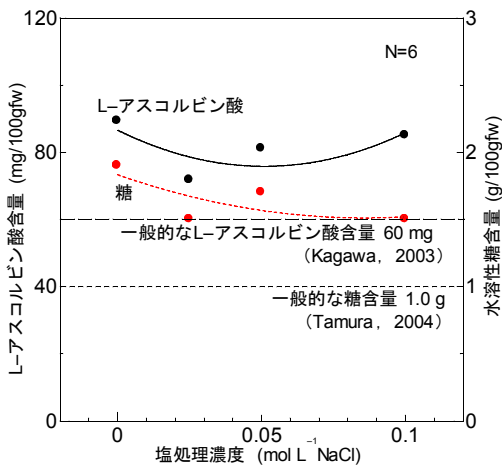


これまで、ホウレンソウに塩処理を行うと、無機成分が減少と言われていましたが、干拓土壤で栽培すると増加がしたことから、干拓土壤中のナトリウム以外のカルシウムやマグネシウム、カリウムが豊富なことが一因となっている可能性があります。

図1 塩処理濃度とホウレンソウの無機成分含量の関係

* 一般的な無機成分含量（五訂成分表による）

** 0.025mol L⁻¹=0.15%，0.050mol L⁻¹=0.30%，0.10mol L⁻¹=0.60%

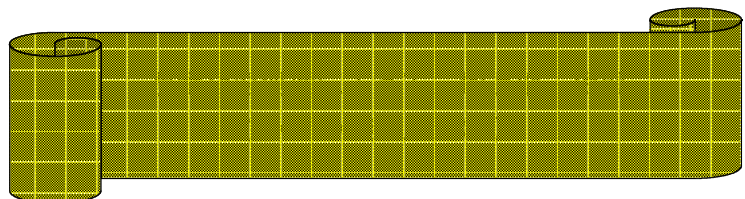


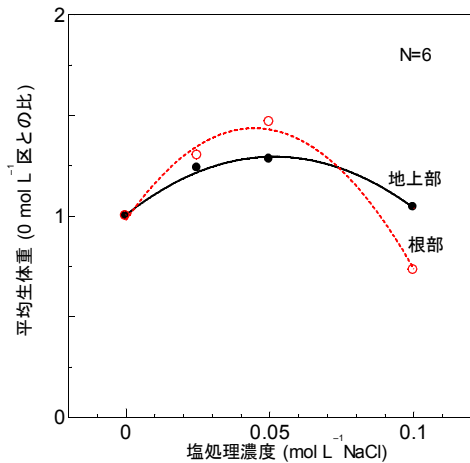
拓土壤で栽培したホウレンソウは、アスコルビン酸と糖含量が一般的な値よりも高くなりました（図2）。

ナトリウムだけでなくその他の塩類も多く含んでいる干拓土壤で栽培することで、機能性成分であるアスコルビン酸と糖含量が増加することがわかりました。

図2 塩処理濃度とホウレンソウの還元型アスコルビン酸と水溶性糖含量の関係

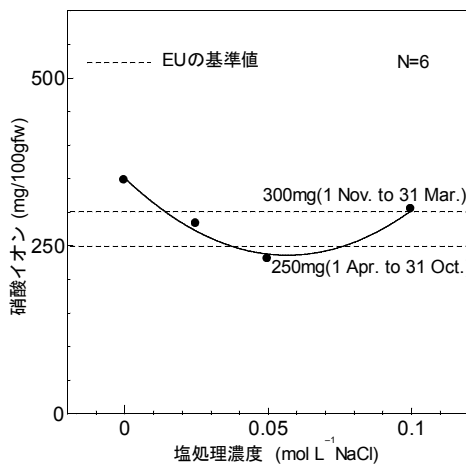
◎塩処理の影響は…





葉の展開長や葉数の変化がなく、生体重が重くなったことから、葉の厚みが増したことが考えられます。

図3 塩処理濃度とホウレンソウの重さの関係



人体に有害といわれている硝酸含量は、適度な塩処理によって減少し、EUの基準値*をクリアしました(図4)。

*EUは時期や栽培法によって変動する硝酸塩の基準値を定めています。

図4 塩処理濃度とホウレンソウの硝酸含量の関係

◎まとめ

豊富なミネラル分を含む干拓土壌でホウレンソウを栽培すると、収量の増加や品質向上につながる事がわかりました。また、硝酸含量がEUの硝酸基準値を下回ることがわかり、低硝酸ホウレンソウの栽培可能性が示されました。

今回は、0.15と0.30%の塩処理で収量や品質が良くなりました。実際の干陸初期のナトリウム濃度は、塩処理で最も濃度を高くした0.60%区程度であります。緑肥作付けによる脱塩が進んだ現状では、0.15%区程度となっており、先に述べた0.15%の塩処理効果が期待できます。干拓地での営農においてホウレンソウを計画されている方は少ないと思いますが、今後、ホウレンソウの内容成分で有用と思われる項目についてさらに分析を進め、品質および機能性を同時に高める最適な条件を探り、圃場で栽培したホウレンソウとの比較を行い、この結果をもとに、他の野菜類にも応用できる技術確立を行います。

◆◇◇九州農政局通信〔制度資金の活用による営農支援〕……

今回は、制度資金及び平成19年度条件改定の概要についてご紹介いたします。

食料・農業・農村基本計画(平成17年3月)の目指す効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、経営意欲と能力のある農業の担い手が、経営改善を図ろうとする場合に必要な資金が的確に供給されるよう、農業経営改善関係資金等が創設されています。

1 【主な制度資金】

【農業近代化資金】〔民間金融機関(農協、銀行、信用金庫等)〕

担い手の農業経営の改善を支援するための長期資金。

貸付対象者:認定農業者 その他担い手

融資限度額:個人18百万円、法人2億円

金利:借入時の金利は金融情勢により変動します。最新の金利は金融機関にご照会下さい。(参考;平成19年6月20日現在 認定農業者1.6%~1.95% その他担い手2.0%)

償還:15年以内(うち据置7年以内)

融資率… 認定農業者 100% その他の担い手 80%

【農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)】〔農林漁業金融公庫〕

認定農業者の農業経営改善計画の達成を支援するための超長期資金。

貸付対象者:認定農業者

融資限度額:個人1.5億円、法人5億円、(特認あり)

金利:借入時の金利は金融情勢により変動します。最新の金利は金融機関にご照会下さい。(参考;平成19年6月20日現在 認定農業者1.6%~2.0%)

償還:25年以内(うち据置10年以内)

融資率…100%

【経営体育成強化資金】〔農林漁業金融公庫〕

担い手の農業経営の改善を支援するための長期資金。

貸付対象者:認定農業者以外の担い手

貸付限度額:個人1.5億円、法人5億円

金利:借入時の金利は金融情勢により変動します。最新の金利は金融機関にご照会下さい。(参考;平成19年6月20日現在 2.0%)

償還期限:25年以内(うち据置10年以内)

【農業経営改善促進資金(スーパーS資金)】〔民間金融機関(農協、銀行、信用金庫等)〕

認定農業者の農業経営改善計画の達成を支援するための短期運転資金。

貸付対象者:認定農業者

貸付限度額:個人5百万円(畜産・施設園芸2千万円)、法人2千万円(畜産・施設園芸8千万円)

金利:借入時の金利は金融情勢により変動します。最新の金利は金融機関にご照会下さい。(参考;平成19年6月20日現在 1.9%)

【農業改良資金】

新しい技術や作物を導入したり、農畜産物の加工に新しい方式を導入する場合等に必要な資金を無利子で貸付。

貸付限度額：認定農業者は、個人は1,800万円、法人等は5,000万円。

認定農業者以外は、必要な経費の額の8割に相当する額と上記の額のいずれか低い額。

償還期限：償還期間は10年以内（据置期間は3年以内）。エコファーマー等の場合償還期間12年以内。

問合せ先：お近くの普及指導センター、農協等にご相談ください。

【就農支援資金】

新たに農業を始めようとする人や、農業の経験がない人を新たに採用しようとする農業法人等に、無利子で資金を貸付。就農研修資金、就農準備資金、就農施設等資金の3種類。

貸付限度額：就農研修資金は、農業大学校等の場合5万円／月、先進農家等は15万円／月、指導研修は200万円／月。就農準備資金は200万円。

就農施設等資金は、青年は2,800万、中高年は1,800万円、及びそれを超える額については900万円又は必要な資金の額の1／2のいずれか低い額。

償還期間：研修資金、準備資金の青年は12年以内、中高年は7年以内、据置期間はそれぞれ4年、2年以内。施設等資金は、償還期間が12年以内、据置期間が5年以内。

問合せ先：各県の青年農業者等育成センターへにご相談ください。

2 【平成19年度条件改定の概要】

① 【スーパーL資金等の無利子化措置】

対策のポイント

認定農業者が借り受けるスーパーL資金などを無利子で融通し、担い手の育成・確保を金融面から強力に支援します。

（参考）平成19年6月20日現在の金利は期間に応じて、1.6%～2.0%

<内容>

平成19年度から3年間の「集中改革期間」に認定農業者が借り受けるスーパーL資金等を、農山漁村振興基金からの追加利子助成により無利子とする措置を講じ、担い手の育成・確保を強力に推進します。

- ① 貸付対象者：認定農業者
- ② 資金使途：スーパーL資金（安定化長期資金を除く）、農業近代化資金
- ③ 無利子化措置の限度額：個人 1億円、法人 3億円
（500万円以下の小口の融資は対象としない）

② 【担保・無保証人によるクイック融資】

対策のポイント

担い手が緊急に必要とする小口の資金について、迅速に無担保・無保証人での融資の可否を判断する仕組みをつくります。

(背景担い手のニーズに即した使いやすいものとするため、速やかな融資判断を行います。)

<内容>

企業経営診断手法(スコアリング手法)を活用し、担い手が営農活動を行う際に緊急に必要な比較的小口の一定額までについて、最速1週間で無担保・無保証人での融資の可否を判断できる仕組みをつくります。

- ① 貸付対象者：認定農業者及び一定の要件を満たす集落営農(スコアリングシステムにより経営実績が一定格付以上(正常先)と判断された者に限る)
- ② 資金使途：スーパーL資金(安定化長期資金を除く)、農業近代化資金
- ③ 無担保・無保証人でのクイック融資の限度額：500万円まで無担保・無保証人で融資
- ④ 手続き：決算書等を提出した日から最速1週間程度で融資可否を判断

③【企業等からの農業参入法人に対する支援】

対策のポイント

農業経営への意欲的な企業の農外からの新規参入を促進するため、農業経営実績がなくても一定の要件を満たす農業参入法人を農業近代化資金、経営体育成強化資金(農林公庫資金)の貸付対象者に追加します。

(参考) これまでは、農業参入法人が認定農業者であれば、農業近代化資金、スーパーL資金の融通が可能でした。

<内容>

- ① 貸付対象者：異業種から農業参入した法人など農業経営の実績のない法人(経営開始後2期以上の決算を終えていないもの)であって、次の要件を満たすもの
 - 5年以内に認定農業者となる計画を有していること
 - 経営改善資金計画について、市町村特別融資制度推進会議の認定を受けていること
- ② 資金使途：農地取得資金、施設整備資金、長期運転資金
- ③ 貸付金利：2.0%(平成19年6月20日現在)
- ④ 貸付限度額：1.5億円
- ⑤ 償還期限：農業近代化資金 15年以内(据置7年以内)
経営体育成強化資金 25年以内(据置10年以内)
- ⑥ 融資機関：農業近代化資金 農協系統金融機関、銀行、信用金庫
経営体育成強化資金 農林漁業金融公庫

※ 市町村特別融資制度推進会議とは、公的資金の貸付けに当たって、関連機関が一括して、その融資・保証審査等を行うための組織

3【問い合わせ先】

農林漁業金融公庫長崎支店、お近くの農協等民間金融機関にご照会下さい。

〔問い合わせ先〕

〒860-8527熊本市二の丸1番2号

九州農政局生産経営流通部経営支援課 園田、岩永(内線4271、4274)

TEL:096-353-3561(代表) FAX:096-324-1439

◆◇◇その他(意見、提案の募集).....

～皆様のご意見をお寄せ下さい～

定期的に、諫早湾干拓室からのお便りを差し上げているところですが、お知らせの内容その他につきましてのご意見やご要望等ございましたら、諫早湾干拓室までお寄せ下さい。

なお、今後、お便りを差し上げる場合にEmailでの送付をご希望の方はメールアドレスをお知らせ下さい。

送付先 〒850-8570(住所記載不要) 長崎県農林部諫早湾干拓室
(TEL 095-895-2051 FAX 095-895-2595)

Email s07050@pref.nagasaki.lg.jp

お願い Emailでご意見やご要望等をお寄せいただく場合には、恐れ入りますがメールの件名を諫干だよりで設定し送信をお願いします。

●編集後記

梅雨も明け、夏真っ盛りを感じられる様になりました。当初、空梅雨が懸念され、渇水対策本部もできたところですが、その後は梅雨らしく雨も降り、渇水も解消し、懸念もなくなりましたが、台風が接近し、葉たばこ等に被害がでました。今後も台風の到来は心配されるところです。

さて、7月には、諫早湾干拓事業で生まれた高来町の自然干陸地では約20万本のヒマワリが満開となり、たくさんの方が楽しんでいました。地元のNPO法人「拓生会」が種を4月にまいたそうです。秋には、例年と同じようにコスモスも咲かせられる予定だそうです。

公募が9月3日をもって終わることから、次回をもって本諫干だよりは、終了させていただきます。なお、公募された方々には、今後も、何らかの形で情報提供されます。